



piaggero

NP-32 NP-12

MIDIリファレンス

目次

MIDI(ミディ)に関する設定.....	2
MIDI(ミディ)送信/受信チャンネルの設定	2
ローカルコントロールオン/オフの設定	2
プログラムチェンジ送受信オン/オフの設定	3
コントロールチェンジ送受信オン/オフの設定	3
MIDI(ミディ)データフォーマット	4
MIDI(ミディ)インプリメンテーションチャート	7

ミディ MIDIに関する設定

MIDIに関する各種設定や操作について説明します。

ミディ MIDI送信/受信チャンネルの設定

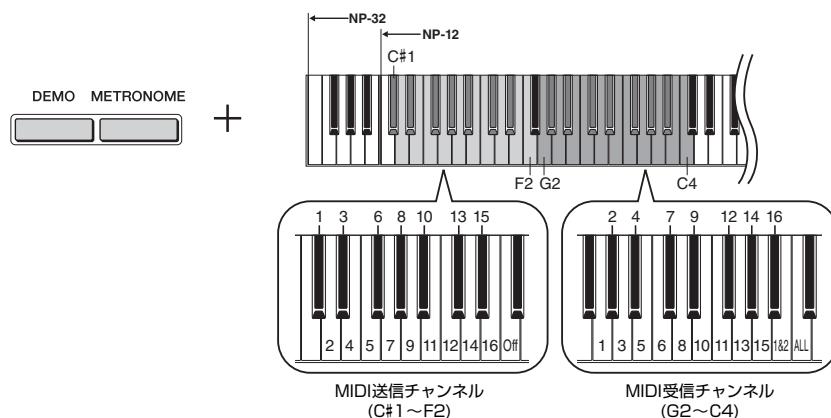
MIDI楽器どうしで、演奏情報を送受信するためには送信側と受信側でMIDIチャンネル(1～16チャンネル)を合わせておく必要があります。ここで楽器本体からMIDIデータを送受信するときのチャンネルを設定します。

MIDI送信チャンネルの設定

[DEMO]ボタンを押したまま、[METRONOME]ボタンを押し、その状態でC#1～F2鍵盤のどれかを押します。

MIDI受信チャンネルの設定

[DEMO]ボタンを押したまま、[METRONOME]ボタンを押し、その状態でG2～C4鍵盤のどれかを押します。



デュアルのときの第2音色は
ここで設定したチャンネルの次のチャンネルで送信されます。
(第1音色は、ここで設定したチャンネルで送信されます。)ただし、上記設定チャンネルをOFFに設定した場合は送信されません。

ALLの場合は

「マルチティンバー」と呼ばれる仕様になっており、外部MIDI機器から送信される複数のチャンネルのデータを、同時に受信します。複数のチャンネルを使って作られた演奏データを、この楽器で受信して再生させることができます。

「1&2」の場合は

シーケンサーなどの外部MIDI機器から受信するデータのうち1、2チャンネルのデータだけを受信し、この楽器本体で再生することができます。

この楽器では、楽器本体のパネル設定や手弾き音は、送信されてくるプログラムチェンジ(音色切り替え)などのチャンネルメッセージから影響を受けません。

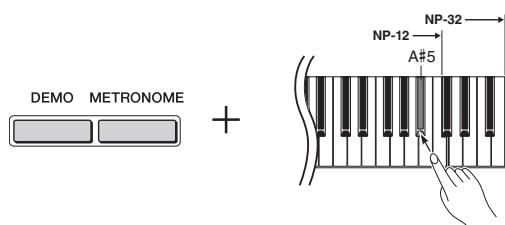
デモ曲/ピアノデモ曲/録音した曲の再生データはMIDI送信されません。

ローカルコントロールオン/オフの設定

通常、この楽器の鍵盤を弾くと本体内部の「音源」から音が出ます。この状態は「ローカルコントロールオン」と呼ばれます。「ローカルコントロールをオフ」にすると、「鍵盤」と「音源」が切り離され、鍵盤を弾いてもこの楽器からは音が出なくなります。一方、鍵盤を弾いた演奏データはMIDI送信されますので、この楽器の音を鳴らさずにMIDI接続した外部の音源を鳴らしたいときなどに、ローカルコントロールをオフにします。

[DEMO]ボタンを押したまま、[METRONOME]ボタンを押し、その状態でA#5鍵盤を押します。A#5鍵盤を押すたびにローカルコントロールオン/オフが設定されます。

初期設定：オン

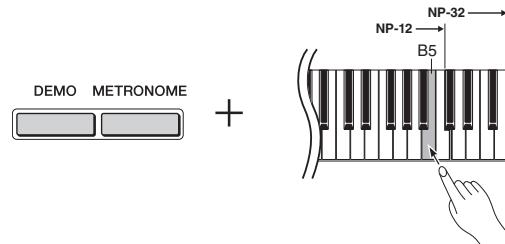


プログラムチェンジ送受信オン/オフの設定

MIDIで送信側の機器から受信側の機器の音色を切り替える情報をプログラムチェンジと言います。たとえばこの楽器からプログラムチェンジを送信するとMIDI接続した外部機器の音色を切り替えることができます。(この楽器のパネル上で音色を切り替えたときに、切り替えた音色のプログラムチェンジナンバーが送信されます。)逆にMIDI接続した外部機器から送信されたプログラムチェンジをこの楽器が受信すると、同時に受信しているMIDIの演奏データの音色が切り替わります。(このとき鍵盤での手弾き音色は切り替わりません。)

このプログラムチェンジの送/受信ができたほうが便利な場合(=MIDI接続した外部機器と音色切り替えを連動させたい場合)と、できないほうが便利な場合(=MIDI接続した外部機器と音色切り替えを連動させたくない場合)があります。音色切り替えを連動させたい場合はオンに、連動させたくない場合は、オフにします。

[DEMO]ボタンを押したまま、[METRONOME]ボタンを押し、その状態でB5鍵盤を押します。B5鍵盤を押すたびにプログラムチェンジ送受信オン/オフが設定されます。



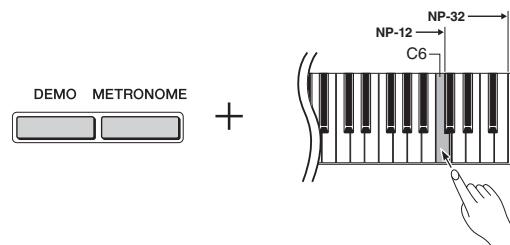
各音色のプログラムチェンジナンバーについては「MIDIデータフォーマット」(4ページ)をご覧ください。

初期設定：オン

コントロールチェンジ送受信オン/オフの設定

コントロールチェンジデータとは、MIDIデータのうち、演奏表現など(たとえば、サステインペダルの情報)に関するデータのことです。この楽器からコントロールチェンジを送信するとMIDI接続した外部機器の演奏をコントロールすることができます。(この楽器でサステインペダルを操作したときなどにコントロールチェンジが送信されます。)逆にMIDI接続した外部機器から送信されたコントロールチェンジをこの楽器が受信すると、同時に受信しているMIDIの演奏データがそれに反応します。(このとき鍵盤での手弾き音は影響を受けません。)このコントロールチェンジの送/受信ができたほうが便利な場合と、できないほうが便利な場合があります。送/受信ができたほうが便利な場合はオンに、できないほうが便利な場合は、オフにします。

[DEMO]ボタンを押したまま、[METRONOME]ボタンを押し、その状態でC6鍵盤を押します。C6鍵盤を押すたびにコントロールチェンジ送受信オン/オフが設定されます。



この楽器がコントロールチェンジとして扱える情報については「MIDIデータフォーマット」(4ページ)をご覧ください。

初期設定：オン

7. システム・エクスクルーシブ・メッセージ (ユニバーサル・システム・エクスクルーシブ)

1) ユニバーサル・リアルタイム・メッセージ [FOH]→[7FH]→[XnH]→[04H]→[01H]→[rrH]→[mmH]→ [F7H]

MIDIマスター・ボリューム(受信のみ)
※ 全チャンネルの音量が一度に変化します。
※ MIDIマスター・ボリュームを受信したときは、MIDI入力
チャンネルのみに効果があり、バネルのボリュームは変化
しません。

FOH : エクスクルーシブ・ステータス
7FH : ユニバーサル・リアルタイム
7FH : ターゲットデバイスのID
04H : サブID #1(機種コントロール・メッセージ)
01H : サブID #2(マスター・ボリューム)
rrH : ボリュームLSB
mmH : ボリュームMSB
F7H : エンド・オブ・エクスクルーシブ

または

FOH : エクスクルーシブ・ステータス
7FH : ユニバーサル・リアルタイム
XnH : Xは無視、nは0～Fを受信
04H : サブID #1(機種コントロール・メッセージ)
01H : サブID #2(マスター・ボリューム)
rrH : ボリュームLSB
mmH : ボリュームMSB
F7H : エンド・オブ・エクスクルーシブ

2) ユニバーサル・ノン・リアルタイム・メッセージ (GM ON)(受信のみ) [FOH]→[7EH]→[XnH]→[09H]→[01H]→[F7H]

ジェネラルMIDIモード・オン
FOH : エクスクルーシブ・ステータス
7EH : ユニバーサル・ノン・リアルタイム
7FH : ターゲットデバイスのID
09H : サブID #1(ジェネラルMIDIメッセージ)
01H : サブID #2(ジェネラルMIDIオン)
F7H : エンド・オブ・エクスクルーシブ

または

FOH : エクスクルーシブ・ステータス
7EH : ユニバーサル・ノン・リアルタイム
XnH : Xは無視、nは0～Fを受信
09H : サブID #1(ジェネラルMIDIメッセージ)
01H : サブID #2(ジェネラルMIDIオン)
F7H : エンド・オブ・エクスクルーシブ

※ オンを受信することにより、MIDIがリセットされて初期状態になります。このメッセージの実行には、約50msecかかるため、次のメッセージとの間隔を注意してください。

8. システム・エクスクルーシブ・メッセージ (XG規格)

1) XGネイティブ・パラメーター・チェンジ [FOH]→[43H]→[1nH]→[4CH]→[hhH]→[mmH]→[rrH]→ [ddH]→……→[F7H]

FOH : エクスクルーシブ・ステータス
43H : ヤマハ
1nH : n=送信時は常に0、受信時は0～F
4CH : XGモデルID
hhH : アドレスHigh
mmH : アドレスMid
rrH : アドレスLow
ddH : データ
⋮
F7H : エンド・オブ・エクスクルーシブ

※ データサイズはパラメーターのサイズに一致する必要があります。
※ XGシステム・オンを受信することにより、MIDIがリセットされて初期状態になります。このメッセージの実行には、約50msecかかるため、次のメッセージとの間隔を注意してください。

2) パルクダンプ(受信のみ)

[FOH]→[43H]→[OnH]→[4CH]→[aaH]→[bbH]→[hhH]→
[mmH]→[rrH]→[ddH]→……→[ccH]→[F7H]

FOH : エクスクルーシブ・ステータス
43H : ヤマハ
OnH : n=送信時は常に0、受信時は0～F
4CH : XGモデルID
aaH : バイト・カウント
bbH : バイト・カウント
hhH : アドレスHigh
mmH : アドレスMid
rrH : アドレスLow
ddH : データ
⋮
ccH : チェック・サム
F7H : エンド・オブ・エクスクルーシブ

※ XGシステム・オンを受信すると、必要なパラメーター、コントロール・チェンジ等をリセットし、初期状態になります。このメッセージの実行には、約50msecかかるため、次のメッセージとの間隔を注意してください。
※ XGネイティブ・パラメーター・チェンジで、データサイズが2または4のパラメーターは、そのサイズ分のデータを送信します。
※ XGパルクダンプのアドレスおよびバイトカウントは、付表2の「MIDIパラメーター・チェンジ表(システム)」を参照してください。付表中トータルサイズで区切られたデータシリーズが一つのパレクになり、そのシリーズの先頭アドレス(0OH, 0OH, 0OH)のみパレクデータのアドレスとして有効です。

<付表2>
MIDIパラメーター・チェンジ表(システム)

アドレス(H)	サイズ(H)	データ(H)	パラメーター	記述	初期値(H)		
00 00 00	4	020C～05F4	マスター・チューン	-102.4～+102.3[セント]	00 04 00 00	※020CH以下の値は-102.4セントになります。	
01				1stビット3～0→ビット15～12	400	05F4H以上の値は+102.3セントになります。	
02				2ndビット3～0→ビット11～8			
03				3rdビット3～0→ビット7～4			
04	1	00～7F	マスター・ボリューム	4thビット3～0→ビット3～0			
7E		0	XGシステム・オン	0～127	7F		
7F		0	オール・パラメーター・リセット	00=XGシステム・オン(受信のみ)			
トータルサイズ	07			00=オン(受信のみ)			

MIDIデータフォーマット

<付表3>

MIDIパラメーター・チェンジ表(エフェクト1)
※ リバーブ、コーラス、バリエーション・タイプのナンバーは、エフェクトMIDIマップを参照してください。

アドレス(H)	サイズ(H)	データ(H)	パラメーター	記述	初期値(H)
02 01 00	2	00~7F 00~7F	リバーブ・タイプMSB リバーブ・タイプLSB	エフェクトMIDIマップを参照 00:ベーシック・タイプ	01(=ホール1) 00
02 01 20	2	00~7F 00~7F	コーラス・タイプMSB コーラス・タイプLSB	エフェクトMIDIマップ参照 00:ベーシック・タイプ	00(=エフェクトなし) 00

注意：ここでいうバリエーション・エフェクトとは、本機のパネルのエフェクトに相当します。

<付表4>

エフェクトMIDIマップ(Reverb)

	MSB	LSB
ROOM	02H	10H
HALL1	01H	10H
HALL2	01H	11H
STAGE	03H	10H
OFF	00H	00H

<付表5>

エフェクトMIDIマップ(Effect)

	MSB	LSB
CHORUS	41H	08H
PHASER	48H	11H
TREMOLO	77H	00H
ROTARY SP	42H	12H
OFF	00H	00H

9. システム・エクスクルーシブ・メッセージ (デジタルピアノMIDI準拠)

[FOH]→[43H]→[73H]→[01H]→[nnH]→[F7H]

FOH : エクスクルーシブ・ステータス

43H : ヤマハ

73H : デジタルピアノ

01H : 機種ID(デジタルピアノ共通)

nnH : サブステータス

02H 内部クロック

03H 外部クロック

F7H : エンド・オブ・エクスクルーシブ

10. システム・エクスクルーシブ・メッセージ (その他)

[FOH]→[43H]→[1nH]→[27H]→[30H]→[00H]→[00H]
→[mmH]→[rrH]→[ccH]→[F7H]

※ マスター・チューニング(XGと後着優先)で、全チャンネルの音程を一度に変えられるメッセージです。

FOH : エクスクルーシブ・ステータス

43H : ヤマハ

1nH : n=送信時は常に0、受信時は0~F

27H : TG100の機種ID

30H : サブID

00H :

00H :

mmH : マスター・チューニングMSB

rrH : マスター・チューニングLSB

ccH : ccはなんでもよい。(7FH以下)

F7H : エンド・オブ・エクスクルーシブ

ミディ

MIDIインプリメンテーションチャート

YAMAHA [Digital Keyboard]

NP-32 NP-12 MIDIインプリメンテーションチャート

Date : 03-Aug-2015

Version : 1.0

ファンクション		送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1 1 - 16	1 - 16 1 - 16	
モード	電源ON時 メッセージ 代用	3 X *****	3 X X	
ノートナンバー	音域	0 - 127 *****	0 - 127 0 - 127	
ベロシティ	ノートオン ノートオフ	○ 9nH, v=1-127 X	○ 9nH, v=1-127 X	
アフターツッピング	キー別 チャンネル別	X X	X X	
ピッチベンド		X	○	
コントロールチェンジ	0,32 1 7 10 11 6,38 64 66,67 71,72,73,74 91,93 96,97 100,101	○ X X X ○ X ○ X X X X ○ X X X X	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	バンクセレクト ミュージレーション メインボリューム パンポット エクスプレッション データエントリー サステイン ソステナート、ソフトペダル サウンドコントローラー ¹ エフェクトデプス RPN Inc,Dec RPN LSB,MSB
プログラムチェンジ: 設定可能範囲		○ 0 - 127 *****	○ 0 - 127	
システムエクスクルーシブ		○	○	
コモン:	ソングポジション ソングセレクト チューン	X X X	X X X	
システム:	クロック	○	○	
リアルタイム:	コマンド	○	X	
Aux	: オールサウンドオフ : リセットオールコントロール : ローカルオン/オフ	○ ○ X	○ (120, 126, 127) ○ (121) ○ (122) ○ (123-125)	
メッセージ	: オールノートオフ : アクティブセンス : リセット	○ ○ X	○ ○	
備考:				

モード1: オムニオン、ポリ モード2: オムニオン、モノ
モード3: オムニオフ、ポリ モード4: オムニオフ、モノ○ : あり
X : なし